

京都観世会九月例会

令和4年9月25日(日) 午前11時開演 (午前10時開場)



主催 公益社団法人 京都観世会

輪蔵

〈能〉

井上裕久

仏師

〈狂言〉

茂山千之丞

井筒

〈能〉

河村晴道

善界

〈能〉

味方玄

白頭



文化庁

会場 京都観世会館

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町44 (東山仁王門東入)

お問合せ・お申込み

☎ 075-771-6114

<http://www.kyoto-kanze.jp>

WEBサイトの公演情報からご予約が出来ます。



本公演は新型コロナウイルス感染予防ガイドラインに沿った対策に取り組み開催致します。

前売券は8月1日(月)より発売致します。

◆WEBで指定席が購入できます◆

一般前売指定席券 (1階)	8,000円	※webにて販売
一般前売自由席券	6,000円	
一般当日券 (自由席)	6,500円	
学生券 (2階自由席)	3,000円	

※通信講座受講生、放送大学、老人大学は一般料金です。

京都観世会館案内図



東隣に有料駐車場(約20台)がございます。

◆京都観世会館へは

- J R京都駅から —
 - 市バス[5]で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車 徒歩約3分 (乗車時間約30分)
 - 市バス[86][206]で「東山仁王門」下車 徒歩約5分 (乗車時間約30分)
 - 地下鉄烏丸線「烏丸御池駅」にて東西線に乗り換え「東山駅」下車 (乗車時間約20分)
- 阪急京都河原町駅から —
 - 市バス[31][46][201][203]で「東山仁王門」下車 徒歩約5分 (乗車時間約15分)
- 京阪三条駅から —
 - 市バス[5]で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車 徒歩約3分 (乗車時間約7分)
 - 地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約1分)
- J R二条駅から —
 - 地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約8分)
- 山科・醍醐方面から —
 - 地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約9～17分)
- ①番出口から徒歩約5分

京都観世会九月例会

普建童子 吉浪 咲紀
普成童子 味方 遙
火天 浦田 保親

輪藏

井上裕久 從僧原 陸
從僧岡 大 大鼓石井景之
從僧岡 充 小鼓林 大和
從僧岡 實 末社ノ神 鈴木 実

仏師

すば 茂山千之丞 田舎者 網谷正美
休息二十分

(一時頃)

井筒

河村晴道 旅僧 宝生欣哉 大鼓 白坂信行
間 里人 茂山 茂 小鼓 大倉源次郎
休息十五分

錦 木キリ (仕舞)
富士太鼓 樹下千慧
松井美樹

善界

太郎坊 河村和貴 味方 玄 有松遼一 大鼓 山本寿弥
白頭 比叡山僧正 小鼓 成田達志 太鼓 前川光範
間 能力 井口竜也 苗杉 信太郎

後見・地謡

(後見) 橋本光史 樹下千慧 田茂井廣道
杉浦豊彦 河村和晃 分林道治
(地謡) 大江泰正 吉浪壽晃
深野貴彦 林 宗一郎

(後見) 味方 團 谷 弘之助 吉田篤史
大江又三郎 (地謡) 梅田嘉宏 浦田保浩
橋本忠樹 河村晴久

(後見) 大江信行 寺澤拓海 浦部幸裕
片山九郎右衛門 (地謡) 河村浩太郎 古橋正邦
宮本茂樹 青木道喜
松野浩行 片山伸吾

【お知らせ】

。当館ではアルコール消毒液の設置や、多くのお客様が手に触れる箇所には定期的に清掃・消毒を行っております。
。「検温」「マスク着用」「咳エチケット」「手指消毒」のご協力をお願い申し上げます。
。「発熱・咳など風邪症状のある場合は、ご来館前に医療機関にご相談ください。」
。「字幕解説サービス」専用端末は千円(税込)にて貸出いたします。
。今後の状況の変化により、当日券販売の有無や催し物の内容変更または延期となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

解説

輪藏

大宰府の僧が北野天満宮に参詣し、一切経を蔵する輪藏を拝んで、法友と火天を名乗る老人が声をかける。僧が、五千余巻の一切経を一夜のうちに拝みたと言ふと、老人はその志を称え、大唐より一切経を守り日本に渡った傳大士とその子普建普成の名を教え、また必ずここに来て一切経の功徳をあらためて示そう、と言つて姿を消す。

末社の福部の神が輪藏の由来を語ると、煌々たる月の後夜、異香薫じる中、傳大士が普建普成の二童子を伴ひ、御厨子のうちに姿を現し、一切経を入れた箱を僧に与えて、夜遊の舞を舞う。そこに守護神火天が天下り、皆で輪藏を回転させる。一夜で一切経を転読し終えた僧に、火天はますます当社を崇めよと言つて天に上がり、傳大士は二童子とともに御厨子に帰り行く。

井筒 古跡、石上を訪れる。荒れ果てた野に井戸がひとつ残っている。そこへ里の女が現れ、前の塚に回向する。僧の問いに、これは業平の塚であると言ふ。昔、ここに幼い男女が暮らして、日ごろ井戸のそばで遊んでいた。長ずるにしたがひ、お互い恥づるすべを知り、行かぬと決めたが、やがて男が「一筒井筒井筒にやがてしまろがたけ生ひにけらしな妹見さる間に」と求愛し、女も「比べ来し振分髪も肩過ぎぬ君ならずして誰かあぐべき」と答へてついに結ばれた。しかし、男は別の女のもとへ通うようになり、女が何も責めないのを見て、茂山にも別の男が通うのを見て、茂山はついに白波龍の如く、風吹けば沖つ白波龍の如く、夜半にやがて行くと、その切実な心に夫の心は妻のものに戻った。里女はそれは自分であると言ふ。井筒の蔭に姿を消す。

お客様へお願い

- ◆都合により出演者に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ◆許可なき写真撮影・録音・録画はお断りいたします。
- ◆場内では携帯電話等の呼出音をお切りください。
- ◆東隣に有料駐車場がございます。満車の際は岡崎公園市営地下駐車場をご利用ください。

【表紙写真】

《輪藏》片山幽雪

金の星渡辺写真場撮影

次回予告

京都観世会十一月例会

令和4年11月27日(日)

午前11時開演

(能) 通盛 分林 道治
(能) 飛越 茂山 千五郎
(狂言) 松風 観世 鍊之丞
(能) 殺生石 林 宗一郎
白頭 見留

善界 白頭

唐土の天狗の首領善界坊は、すでに本国では慢心の者達を天狗の道に誘ひこんで、つたつたの、次は日本の仏法を妨げようと考え、山伏姿となつて愛宕山の太郎坊という天狗を尋ねる。太郎坊は善界坊の魂胆を聞き、同意して、まず比叡山の様子をうかがうことにする。しかし不動明王は悪魔を破る威力を持つて、天狗は不安にもなるが、二人の天狗は比叡山へと出かけて行く。

比叡山飯室の僧正が從僧をつれて車で都へ急いでいると、急に大風が吹き、雷鳴が轟く。驚いているところへ善界坊が天狗の姿で出現し、僧正に言葉かけ、邪法を唱えながら車の長柄をつかんで僧正を魔道に誘引しようとする。僧正が不動明王に祈ると、不動明王が二童子や十二天を従えて現れた上、山王権現をはじめ男山、松屋の神々が現れて神風によつて善界坊は吹きはられ、力尽きて今後は日本には来ないという声だけを残して雲の中へ消えて行くのであった。